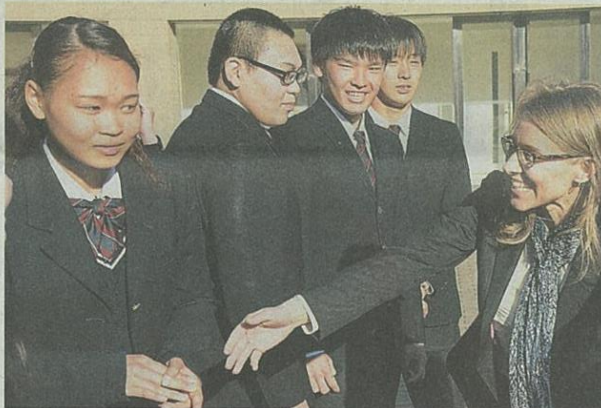


英会話 照れつつトライ

光星高生 米首席領事と交流

八戸



ブルネット・チェン首席領事(手前右)と
歓談する光星高生たち=16日、光星高校

在札幌米国総領事館のレイチェル・ブルネット・チェン首席領事が16日、八戸市の八戸学院光星高校(小野崎龍一校長を訪れた。出迎えたのは海外語学研修を積んだ3年生20人で「卒業後は米国留学したい」「米

国のファッションを学ばたい」など、将来の夢や日米交流について英語で歓談した。国際交流に熱心な同校の取り組みに首席領事が関心を持ち、訪問が実現した。交流会に参加した生徒たちは昨年度、学校法人光星学院と提携するフィリピンの語

学学校CNEIで1週間、語学研修を行った。この日は生徒を代表し、磯崎音羽さんら3人が「現地の小学生たちと流行のチキンダンスを楽しみ、貴重な体験ができた」など、研修の様子を、学んだ英語で紹介した。
ブルネット・チェン首席領事から「英語力とコミュニケーション能力は別。完璧な英語でなくても、怖がらずにしゃべることが大事」と激励されると、緊張気味だった生徒たちは徐々に打ち解け「日本の印象は『好きな食べ物』などと質問し、交流を深めた。
首席領事は16日、同校訪問に先立ち、八戸市庁に小林眞市長を表敬し「次世代の若いリーダーを育てるための交流を、より活発にしていきたい」と話した。
(阿部泰起)